



日 口 交 流

発行 : 特定非営利活動法人 日口交流協会

E-mail:nichiro@nichiro.org

Home Page <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14 麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax : 03 (5563) 0752



第 11 回懇親ロシア語合宿

中村 泰弘

9月22日～23日に栃木県壬生町でのロシア語合宿に行ってきました。会場は嘉陽が丘ふれあい広場という町営の施設で、先日の大型台風で決壊した黒川の近くです。最寄りの駅からはタクシーでしか行けません。食事の提供がない施設ですので、自炊でまかなうため当日食材をスーツケースに詰め込んで持って行きました。

ここは小学校の跡地を利用してつくられた青少年向けの宿泊所で、体育館やグラウンドもあるため、ここが合宿地候補に挙がったときに思いついたのがスポーツをテーマとして何かやるということでした。10月のラグビーワールドカップや来年の東京オリンピックを控え時期的にもちょうどよく興味を引きやすいとも考えました。

宣伝方法は例年通りチラシを作って、協会内への配信とホームページやFacebookへの掲載やナウカ(書店)、いくつかの都内及び栃木県のロシア料理店、雑貨店にも頼んでチラシを置かせてもらいました。予定より参加者が集まらず直前まで開催が決まりませんでした。経費を見直して最終的に応募のあった6名でもできることがわかり、しかも今回の合宿をきっかけに入会を考えてくださった方もいましたので実施する運びとなりました。

実施が確定する前から講師たち(例年通り初級はシゴルツォフ先生、中級はスニトコ先生)にはテーマだけは伝えていましたが、教材や具体的な内容などは先生たちに一任し、先生のスタイルでやっていただきました。結果的にそれですべてうまくいきました。

シゴルツォフ先生のクラスの若い下野さん、高橋さん2名は、先生の熱意が伝染したのか1日目は時間をオーバーして熱心に授業を受けておられ、それにもかかわらず疲れの色も見えませんでした。2人共以前勉強されていたそうですが、久

しぶりに受けたロシア語の授業は新鮮だったことでしょう。初級クラスにはありがたいことにベテランの清水さんが加わり2日間通してシゴルツォフ先生のアシスタント役を務めていただきました。

スニトコ先生のクラスは年配のおじさんぞろいで、先生の十八番である体を動かして覚えるエクササイズについていけず筋肉痛になり、夜に先生からヒーリングを受けている方も中にはいました。スニトコ先生はたくさん手製のテキストや動画を準備してきてくれて、生徒は色んな課題をこなしました。その一つ、未来のオリンピック種目空想コンテストではPETボトルを飛ばすのを競う藤本さんの案が1位になりました。また、野球を全く知らないスニトコ先生に内堀さんはロシア語でゲームの概略を説明されていました。スニトコ先生は実感できないながらもピッチャー中心に試合が運ぶこのスポーツの特徴をすぐ理解され、その筋の良さには驚かされました。

料理は、夜はヨージク(ミートボールのトマト煮)とウハー(魚のスープ)とシゴルツォフ先生持参の自家製ビネグレット(サラダ)、デザートにシゴルツォフ先生持参のお手製ケーキとスニトコ先生差入れの紅茶をいただきました(写真)。翌朝はそばのカーシャ(粥)とマッシュルームのスープ、お昼はペリメニ(餃子スープ)でしめました。すべて全員が進んで協



力し、調理から配膳と後片付け、お皿洗いまでやっていただいたことは今でも一番感謝しています。

2日目の最後に、余った時間を利用して